

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	子ども発達センターたつく（放課後等デイサービス支援）			
○保護者評価実施期間	令和7年1月23日		～	令和7年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	63	(回答者数)	39
○従業者評価実施期間	令和7年1月23日		～	令和7年2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月22日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・就園前や就園後から学齢期まで継続的な支援を行っているため、子ども達の特性や家族背景を理解して専門的な支援につなげることができていると思います。	・併設している保育所訪問等事業を利用し学校や子ども達が関わる機関との連携を意識的に行なっています。事業所のこどもの様子のみではなく他機関との連携を行なうことで総合的な支援につながっていると思います。	・家族のニーズや子ども達の特性や希望などを取り入れた支援につながるよう面談や相談時間の確保を考えます。
2	・保護者送迎のため、送迎時に職員と保護者との顔合わせができることが強みに感じます。保護者の方と話せることで家庭や学校での子ども達の状況を把握したり、当日の活動のねらいの説明や子ども達の様子を伝え合う機会が貴重に感じます。	・こどもの特性に応じた支援を提供できるように、計画を立て実行し評価・振り返りを行い改善し計画を立て直す作業（PDCAサイクル）を意識して行なっています。	・PDCAの内容を保護者の方に具体的にわかりやすく伝える方法を考えます。
3	・施設機能が充足していることが強みです。身体づくりや感覚統合で利用している機能訓練室（なのはな）・部屋数が多い為、各部屋に分かれ落ち着いた環境の中で話し合いや活動を行なうことができています。	・事業所内外の研修に積極的に参加し、専門的な知識のアップデートや安心してご利用していただけるように努めています。	・子ども達の身体に合った環境を整えられるように使用物品の検討をしています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域の他の子どもと活動する機会が持てていません。	・送迎車を有していない・他事業所との距離が遠いなどの理由から交流が図れていないと考えます。	・地域との交流の方法を検討し、社会福祉協議会と連携し次年度は土曜日の活動の中で交流の機会を計画しています。
2	・保護者同士の交流や家族・兄弟支援の機会は土曜活動のみに取り入れることができていますが、平日には行えていないことが課題であり改善が必要だと思えます。	・土曜日のみの活動の中では支援に限りがあると考えます。	・長期休み時の企画やイベントとして検討を考えています。
3	・プログラムや支援内容の説明をする機会をより充足することが課題だと考えます。こども達の特性や強み、弱みを家族・事業所が共有することで、こどもの理解が深くなるため必要なことだと考えています。	・送迎時間の慌ただしさの中で説明の充足は難しいと感じています。	・面談時間の確保・文書などでの説明を検討しています。ご意見や相談の申し込みがしやすい環境を整えたいと思います。